



神出の樹

平成25年6月27日発行

県立神出学園

神戸市西区小東野30

078-965-1122

学園の行事を中心に、神出の様子をみなさんにお知らせする学園通信「神出の樹」平成25年度6月号をお届けします。

『生憎の天気だったけど、楽しかった！京都旅行』

5月29日水曜日、見送りのスタッフに別れを告げて京都嵐山方面に、一日体験旅行の出発です。京都に到着後もまずは「京のおばんざいバイキング」で昼食です。京風湯豆腐、春野菜たっぷりの白味噌スープなど京都らしい料理がたくさんありました。特に、デザートは種類も豊富でたくさんおかわりをしました。熟年層の団体さんと一緒にの会場でしたが、バイキングを楽しむことができました。



昼食後は、京の上生菓子作りを体験しました。白あんを練って皮にくるみ、繊細な作業を経てきれいな形の生菓子を3種類作りました。市販の生菓子と間違えるような作品も多々あり、学園生の芸術的センスが光る体験でした。

最後は渡月橋での記念写真の後、グループ行動で散策やショッピングなどを楽しみました。雨の中を自転車に乗ったサイクリングが充実して良かったという感想が多くありました。学園ではできない体験や交流があり、京都という歴史ある地で「故きを温ねて新しきを知る」体験になったことでしょう！





< 神出学園スタッフの「座右の銘」 >

長谷川大輔さん（教務スタッフ）「心のチャンピオン」

私の座右の銘は高校時代に恩師より受け継いだ「心のチャンピオン」という言葉です。なんのことかわかりませんよね。当時私は陸上競技部に所属していました。初心者ばかりの集団で、陸上も大好きで練習もたくさんしました。自分を自分で追い込んで、お互いの弱いところを互いに補い、目標としている大会を目指して切磋琢磨していました。

常に支えられている多くの人達への感謝の気持ちを忘れず、当たり前レベルを高めていました。みんなで最後の大会の前には、やれることは全てやりました。

しかし、勝負の世界はあまくありません。上には上がいます。初心者集団には限界がありました。上の大会に進めず、悔し涙を流す者も多くいました。その時に恩師が言いました。「自分を信じて全力を出し切ったんだ、何も恥じることはない、みんなは心のチャンピオンだ」その言葉にみんな胸を張りました。

何事も目標に向かう過程が大切だと思います。自分しか解らない、自己満足かもしれないがそれが一番大切だと思います。自分には裏切りたくない。これからも常に本気でありたいですね。



（農園プログラムの様子）



（6 / 12 パフォーマンス・ライブ）

・ 6月9日の「やまびこの会」に、6名の職員が参加をさせていただきました。大変お世話になり、ありがとうございました。

・ 7月2～4日と国立淡路青少年交流の家に「海での体験」に行ってきます。暑い中の行事ですが、健康に留意して、有意義な体験になるように頑張りましょう！